

平成 2 8 年度

熊本県学力調査
「ゆうチャレンジ」
中学校 第 1 学年 国語

- 問題は 1 ～ 4 で、10 ページまであります。
- 解答用紙は、中にはさんであります。取り出して使用しなさい。

年 組 号	
名 前	

熊本県教育委員会

① 内山さんは、保育園で行うボランティア活動について学級会で提案をしています。次は、【提案の様子】の一部と、提案のために準備した【メモ】です。これをよく読んで、あとの問いに答えなさい。

【提案の様子】

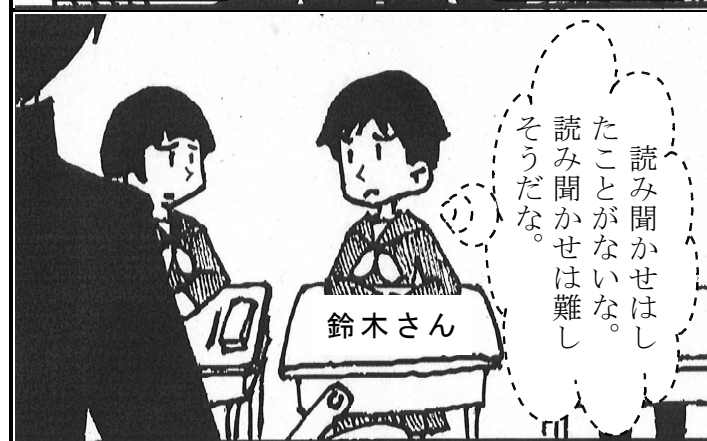
場面①



場面②



場面③



場面④



(1) 内山さんは、場面③の聞き手の反応から、場面④のような対応をしました。内山さんがとった対応として最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

ア 聞き手に、読み聞かせについて何も知らない人がいるととらえ、活動の内容を説明した。

イ 聞き手に、読み聞かせを面倒だと思っている人がいるととらえ、気軽な取組であることを説明した。

ウ 聞き手に、読み聞かせの目的を理解していない人がいるととらえ、活動を具体的に説明した。

エ 聞き手に、読み聞かせの経験がない人がいるととらえ、不安を取り除くための取組を説明した。

(2) 提案の際に使用する【メモ】には、内山さんのどのような工夫がありますか。最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

【メモ】

保育園で行うボランティア活動	
提案の流れ	工夫
1, ボランティア活動の提案 ○読み聞かせ。読み聞かせの写真も提示する。	・話す速度，声の大きさ，間の取り方に注意する。 ・安心感を与えるために，笑顔で話す。
2, 提案理由の説明 ○楽しく取り組むことができる。 ○幼児は絵本が大好き。 ○絵本の世界に浸る体験の重要性。	・提案理由は，一つ一つが伝わるように項目に分けて話す。 ・読み聞かせのすばらしさを問いかける。 ・聞き手の反応を見て，説明が伝わっているか確認する。
3, ボランティアに向けて取り組むこと ○読み聞かせの練習をする。 ○地域の読み聞かせボランティアの方に教えていただく。	・ボランティアに不安を感じないように，教えていただくことを具体的に伝える。「本の選び方」「読み方」など。

ア 間違えないように話すために、話す内容を実際に話すとおりの言葉でしっかりと書いてある。
 イ 分かりやすく話すために、伝えたい事実だけを箇条書きにして書いてある。
 ウ 内容を相手に伝えるために、話すときに心がけることについて具体的に書いてある。
 エ 質問に答えられるように、予想される質問とその答えを書いている。

(3) 鈴木さんは、場面④の内山さんの提案を受けて質問をしました。場面③からのつながりを考えると、どのような質問をするといひですか。次の（ ）に当てはまる言葉を実際に質問するように書きなさい。

「内山さんに質問があります。」

「」

② 次の問いに答えなさい。

(1) 次の①から③までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでいいねいに書きなさい。

- ① 額にあせして働く姿は美しい。
- ② 小学生の弾んだ声が聞こえてきた。
- ③ 今後の抱負を語り合う。

(2) 次の①から③までの文中の——線部のカタカナを漢字に直し、楷書でいいねいに書きなさい。

- ① 私は明るい未来をノゾんでいる。
- ② 来年から海外にハケンされる。
- ③ 石油をサイクツする。

(3) 「内服」の意味を国語辞典で調べると、「薬を飲むこと」と載っていました。さらに、【漢和辞典】で「服」を調べると、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

【漢和辞典に載っていた内容の一部】

【服】

フク

8画

月4

意味①きもの。▼服装

②したがう。▼服従

③つとめる。▼服務

④薬や茶などを飲む。▼内服

○ 粉薬などの包みを数える言葉。

【例】「一日二——」

○ 茶などを飲む回数を表す言葉。

【例】「——のお茶で安らいだ」

エ ウ イ ア

服用 心服 呉服 征服

(4) 次の文について、あとの①、②の問いに答えなさい。

雲間から太陽がやさしく私たちにほほえみかけてくれた。

① この文に用いられている表現の工夫として適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

- ア 「太陽がやさしく」と、いんゆ隠喩が用いられている。
イ 「太陽が」「ほほえみかけてくれた」と、ぎじん擬人法が用いられている。
ウ 「太陽がやさしく」と、ちよく直喩が用いられている。
エ 「私たちにほほえみかけてくれた」と、擬態語が用いられている。

② の一文を次の例にならって、正しく文節に分けなさい。

例 ここが／私の／家です。

(5) 「花」を行書で書くと、楷書で書く場合と比べてどのように変化しますか。適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

【行書で書いた「花」】



- ア 一く四画の点画が連続するとともに、一画目から三画目の筆順が変化する。
イ 一く四画の点画が連続するとともに、六画目と七画目の筆順が変化する。
ウ 一く五画の点画が連続するとともに、七画目の終筆が止めから払いへ変化する。
エ 一く五画の点画が連続するとともに、六画目の始筆と終筆の向きが変化する。

③ 松本さんの学級では、国語の授業で、自分が選んだ本の心に残った場面を紹介します。次は、「二十四の瞳^{にじゅうしひとみ}」という本の「足のけがで学校を休んでいる担任の先生に、小学校一年生の児童が会いに行く場面」です。文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

壺井栄^{つばいさかえ}著『二十四の瞳』による



〈ぞうりの鼻緒〉

- ※1 はな^{はな}岬^{しめ}の先^{さき}の方^{かた}のこと。
- ※2 ぞうりをきらし^{はな}し^おぞうりの鼻緒^{はな}が切れること。
- ※3 一銭^{いちせん}もつていない^{ない}お金^{かね}を全く持っていないこと。

(1) — 線部「きびすをかえせば」とありますが、これはどうすることを表していますか。次のアからエまでのの中から、最も適切なものを一つ選びなさい。

ア ふり返って、今来た道を戻ること。
ウ 気持ちを切り替えて考えること。

イ 立ち止まって、休けいをとること。
エ 友達に対して、思いを伝えること。

(2) 線部「初秋の空は晴れわたって、午後の陽ざしはこの幼い一団を、白くかわいた道のまん中に、異様さをみせてうしろから照らしていた」は、子どもたちの様子を表現したものです。この表現の効果を説明したものとして最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

ア 大石先生が子どもたちを心配している気持ちを明確にする。
イ 陽ざしが子どもたちに元気を与えている様子を印象付ける。
ウ 子どもたちが疲れきって途方に暮れている様子を強調する。
エ 子どもたちと大石先生との悲しい思い出を思い起こさせる。

(3) 松本さんは、心に残った場面の紹介文を書いていきます。次に示した【紹介文】の□に、あなたはどのようにまとめますか。次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

【紹介文】

私が選んだ本は、「二十四の瞳」です。心に残った場面は、小学校一年生の十二人が、先生に会いに行くために、八キロの道のりを自分たちだけで歩く場面です。なぜなら、私も小学生の時に、一人で祖父母の家に行った経験があるからです。

この場面では、子どもたちは、すれ違う人が見知らぬ人ばかりになったことで、だんだん心細くなりしずんだ気持ちになります。さらに、ぞうりが切れたことでみじめな気持ちになります。しかし、ある出来事をきっかけに、子どもたちの気持ちは大きく変化します。子どもたちは、気持ちへと変化しています。自分の小学生の時のことを思い出させてくれるこの場面が、私の一番心に残った場面です。

気持ちへと変化していま

条件1 まず、子どもたちの気持ちの変化するきっかけとなった出来事を書くこと。

条件2 次に、きっかけとなった出来事が起こる前の気持ちと、起こった後の気持ちを書くこと。

条件3 「子どもたちは、」に続けて、「気持ちへと変化しています。」で終わるように、四十字以上、六十字以内で書くこと。

- 4 三浦さんの学級では総合的な学習の時間に、「和食文化を受け継いでいこう」というテーマで調べ学習を行っています。次の【資料1】と【資料2】は、パンフレットの一部です。よく読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料1】

ユネスコ無形文化遺産に「和食…日本人の伝統的な食文化」（平成二十五年）として登録された和食文化。今では海外の一流レストランでも味のベースとして昆布だしが使われるなど、「和食」は世界から注目を集めています。人類共有の財産となった和食文化は、食事のメニューだけではありません。食べる前に「いただきます」と言う、器や調度品などで季節感を楽しむ、私たちの生活の様々な場面で見られる「自然の尊重」の精神に立った、食事の取り方や食に関する習わしを示しています。

和食文化の特徴としては、「多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重」「健康的な食生活を支える栄養バランス」「自然の美しさや季節の移ろいの表現」「正月などの年中行事との密接な関わり」があげられています。

しかし、私たちの食生活は今、どうなっているでしょうか。

多くの食材や食文化が海外から流れ込み、流通や食品産業などが大きく変化しました。また核家族化や共働きの増加などによる働き方や価値観の変化の影響を受けて、若い世代を中心に日本人の食生活も多様化し、その中で和食文化の継承も変化を見せているのではないのでしょうか。

今回、「和食」の保護・継承推進検討会が全国一万人規模で行った食生活に関するアンケート調査では、その傾向ははっきりと見えました。和食文化を「教わった、受け継いだ」と答えた人は全体の三割弱にとどまりました。「教えている、伝えている」という人は十六・八%でした。

今、私たち一人ひとりがこの実態を認識し、大切な和食文化を守り、つなげ、ひろめていく努力をしなければ、和食文化はますます存在感をなくしてしまう恐れがあります。

環境の変化に流されることなく、誰もが和食文化に誇りを感じ、まず自分のできる範囲からひとつずつ和食文化を取り入れていくには、どのようなことが必要なのでしょう。

（農林水産省「平成二十七年度『和食』の保護・継承推進検討会報告書パンフレット」による。）

- (1) 【資料1】に書かれていることとして最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

ア 人類共有の財産となった和食文化は、今後、正月などの年中行事との密接な関わりを中心に、守っていく必要がある。
イ 世界から注目を集めている和食文化だが、これを守り、つなげ、広める努力をしなければ、存在感をなくしていく恐れがある。
ウ 日本人の伝統的な食文化である和食文化であるが、和食文化を教わった人は和食文化を教えている人の半数程度である。
エ ユネスコ無形文化遺産となった和食文化は、みなさんが毎日、和食を食べなければ、世界中に広がっていかない恐れがある。

和食文化の特徴

A 多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重



日本の国土は南北に長く、海、山、里と表情豊かな自然が広がっているため、各地で地域に根差した多様な食材が用いられています。また、素材の味わいを活かす調理技術・調理道具が発達しています。

B 健康的な食生活を支える栄養バランス



ご飯・汁・漬物^{つけもの}にいくつかのおかずを組み合わせる日本の食事スタイルは、栄養バランスがとりやすいと言われています。また、だし^{だし}の「旨み」や発酵食品^{発酵食品}をうまく使った動物性油脂の少ない食生活^{食生活}を実現しており、日本人の長寿^{長寿}や肥満防止に役立っています。

C 自然の美しさや季節の移ろいの表現



食事の場で、自然の美しさや四季の移ろいを表現することも特徴のひとつです。季節の花や葉などで料理を飾り付けたり、季節に合った調度品や器を利用したりして、季節感を楽しめます。

D 正月などの年中行事との密接な関わり



日本の食文化は、年中行事と密接に関わって育^めてきました。自然の恵みである「食」を分け合い、食の時間を共に^{きずな}することで、家族や地域の絆を深めてきました。

(「『和食』を未来へ。」農林水産省による。)

【資料2】

ア 問いかけの文を繰り返して、読み手に自分の問題として考えさせている。
イ 課題と解決方法を示して、読み手に解決の順番を考えさせている。
ウ 他国の具体例と比べて、読み手に多面的な視点で考えさせている。
エ 三つの調査結果を比べて、読み手に何が問題なのかを考えさせている。

(2) 【資料1】の文章の書き方の特徴を説明したものととして最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。

和食文化を受け継いでいこう

1 課題

和食は日本人の伝統的な食文化だが、調査によると和食文化を教わったと答えた人は三割弱しかいないことを知った。和食文化を受け継いでいくために、私たちにできることは何かを考えたい。

2 調査方法

- ① 和食文化に関するパンフレットを集める。
- ② 和食文化について、アンケートを行う。
- ③ 和食文化をキーワードに、インターネットで検索する。

3 調査内容

- ① ユネスコ無形文化遺産になった和食文化の特徴
 - ・パンフレット（【資料1】，【資料2】）から分かったことを書く。
- ② 私たちと和食文化（学級でアンケートを実施）

和食文化に関して教わったことは何ですか。	1位：調理の仕方 2位：日本の伝統 3位：食事作法
それは、どのようにして教わっていますか。	1位：手伝いながら 2位：食事をしながら 3位：行事の時に

- ③ （ ）

和食文化は、日本人の長寿や肥満防止に役立っており、（ア）家族や地域のつながりを深めることにもつながるのですが、（イ）現代では和食文化を守り、（ウ）つなげていくことが難しくなっているため、（エ）自分のできる範囲で和食文化を取り入れていこうという気持ちをもてるような環境をつくっていくことが大切です。

〔11月24日は和食の日〕

日本人の伝統的な食文化について見直し、和食文化の保護・継承の大切さについて考える日

「和食」文化について認識を深め、和食文化の大切さを再認識するきっかけの日となっていくよう願いをこめて、11月24日を“いい日本食”「和食」の日としています。

4 まとめ

今後、わたしが受け継いでいきたい和食文化の特徴は、

5 参考資料

- ・「和食文化を守る。つなぐ。ひろめる。」（農林水産省）
- ・「『和食』を未来へ。」（農林水産省）
- ・一般社団法人和食文化国民会議ホームページ

(3) 【報告の下書き】の「3 調査内容」の③の――線部は、一文が長いので文のつながりを考え、二文に分けようと思います。分け方として最も適切なものを、次のアからエまでのの中から一つ選びなさい。

- ア (ア) で区切り、(ア) の前の部分を「」役立っています。ところが、「と書きかえる。
イ (イ) で区切り、(イ) の前の部分を「」つながります。しかし、「と書きかえる。
ウ (ウ) で区切り、(ウ) の前の部分を「」守ります。だから、「と書きかえる。
エ (エ) で区切り、(エ) の前の部分を「」難しくなっています。そして、「と書きかえる。

(4) 【報告の下書き】の「3 調査内容」の③の(――)には、インターネットで和食文化について調べた二つの情報を整理して、項目名をつけたいと考えています。項目名として最も適切なものを、次のアからエまでのの中から一つ選びなさい。

- ア 和食の日の大切さの認識
イ 和食の日本人に対する効果
ウ 和食文化と環境のつながり
エ 和食文化を守りつなげる取組

(5) 【報告の下書き】の「4 まとめ」の――には、「3 調査内容」をもとにあなたの考えを書きます。【資料2】のAからDの中であなたが受け継いでいきたい和食文化の特徴を一つ選び、あなたの考えを、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【資料2】から、今後、あなたが受け継いでいきたい和食文化の特徴を抜き出して書くこと。

条件2 選んだ和食文化の特徴を受け継ぐために、あなたが取り組みたいことを自分の体験を交えて具体的に書くこと。

条件3 「今後、わたしが受け継いでいきたい和食文化の特徴は、」に続けて、八十字以上、百二十字以内で書くこと。